

ハンディ・ターミナル連動システム

事例③ 物品販売 入力支援システム

Point 1



商奉行とのデータ連携

Point 2



顧客分析を実現

Point 3



バーコード活用で
入力操作を簡素化

- バーコードを活用して入力業務を簡素化
- 年齢、性別、購入理由などを入力して顧客分析を行えます。
- 他のパッケージソフトとの連動も可能です(カスタマイズが必要です)

<目的・効果>

物品販売後の結果を既存で使用している商奉行への売上データの入力作業を軽減するため。物品販売時にハンディターミナルにて読込を行うため、弊社システムを経由することによって売上データを自動的に商奉行に作成することが可能になり入力作業が軽減された。またハンディターミナルで商品以外の情報を取得することによって、購入する顧客の情報(年齢、性別、購入理由)を出力することが可能になった。
(大手スーパーなどのPOSレジが専用の場合が多く、自社で管理したい項目の入力が不可)

使用機器: BT-1000 (KEYENCE社製)

※ハンディターミナル内で使用するプログラムはKEYENCE社製の独自言語を用いてカスタマイズして使用しております。

※PCとハンディターミナル間は専用のクレイドルを用いて接続しております。

使用ソフト: 商奉行(OBC社製)
uniPaaS VI Plus (MagicSoftwareJapan社製)

機能詳細は裏面で

